

# お知らせ

INFORMATION

No.2018-22  
2018年7月  
病体生理研究所

## 新規検査項目受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

### 【新規受託開始について】

- ◆ サイトメガロウイルス核酸検出（新生児尿）〔16414〕…検査実施施設（S）  
※項目情報裏面参照

《受託開始日》2018年7月30日（月）受付分より

**【新規項目情報】**

|         |                                                                                                                     |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目名称    | サイトメガロウイルス核酸検出（新生児尿）                                                                                                |
| コード     | 16414                                                                                                               |
| 検体材料    | 部分尿 0.2mL                                                                                                           |
| 保存（安定性） | 凍結（42日間）                                                                                                            |
| 採取容器    | No41 細菌検査用容器（赤キャップ）                                                                                                 |
| 検査方法    | 等温核酸増幅法                                                                                                             |
| 基準値     | （－）                                                                                                                 |
| 所要日数    | 4～11日                                                                                                               |
| 実施料（区分） | 850点（D023 - 14）                                                                                                     |
| 判断料     | 微生物学的検査判断料 150点                                                                                                     |
| 備考      | 生後3週間以内に採取された新生児尿をご提出ください。<br>他項目との重複依頼は避けてください。<br>本検査方法ではコンタミネーション（便を含む）の影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 |

本項目は、先天性サイトメガロウイルス感染の診断補助に有用な定性検査です。

サイトメガロウイルス（CMV）は自然界に普遍的に存在するウイルスであり、乳幼児期に広く不顕性感染し、生涯にわたり潜伏感染します。一方で、妊婦が初感染または再感染した場合や妊婦の免疫力低下により再活性化した場合、胎児に進行性の難聴などの神経学的な後遺症をきたすことがあります。

日本における先天性CMV感染児は、年間約3,000人とされています。CMV抗体（IgG）が陰性の妊婦のうち、1～2%が妊娠中に初感染し、そのうち約40%が胎児感染に至ります。感染児の20%が症候性、80%が無症候性として出生しますが、無症候性でも遅発性の後遺症が出現することがあるため、継続的なフォローアップが必要となります。妊婦の抗体保有率が低下傾向にありCMV初感染リスクが高まっていること、感染児への早期介入・治療により予後の改善が見込めることから、新生児に対する適切な診断を早期に行うことが求められています。

本項目は、先天性CMV感染が疑われる生後3週間以内の新生児を対象に、尿中のCMVの核酸を検出する定性検査です。出生直後の感染と区別するために、生後3週間以内に採取した尿での測定が推奨されています。

以上